

県内の交通事故	
発生件数	9,522件 (-193件)
死者数	83人 (-18件)
負傷者数	11,564人 (-181件)
死者全国ワースト1位 令和元年7月末(前年比)	

7月末の数値です。(8月1日時点)速報値については、千葉県警ホームページにて公表しています。

第170号

発行：千葉県環境生活部くらし安全推進課

電話 043(223)2263

FAX 043(221)2969

身につける

夜道のお守り

反射材

左右確認！ ～秋の夕暮れの合言葉～ 早めのライトと反射材

子供と
高齢者の
安全な通行の
確保

高齢運転者の
交通事故防止

夕暮れ時と
夜間の歩行中
・自転車乗用中
の交通事故防止

全ての座席の
シートベルトと
チャイルドシートの
正しい着用の
徹底

飲酒運転
の根絶



9月30日(月)は「交通事故死ゼロを目指す日」です
秋の全国交通安全運動

令和元年9月21日(土)～9月30日(月)



内閣府

千葉県・千葉県交通安全対策推進委員会

令和元年 秋の全国交通安全運動が始まります

次代を担う子供のかげがえのない命を社会全体で交通事故から守ることが重要です。また、高齢運転者による重大交通事故が発生しています。

秋口は、日没の急激な早まりとともに、夕暮れ時や夜間には、重大事故につながるおそれのある歩行中・自転車乗用中の交通事故の増加が懸念されることから、この時期に、広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的に実施します。

実施期間 令和元年9月21日(土)から9月30日(月)まで
交通死亡事故ゼロを目指す日…9月30日(月)

スローガン ～ 身につける 夜道のお守り 反射材 ～

運動の 重点目標

- ① 子供と高齢者の安全な通行の確保
- ② 高齢運転者の交通事故防止
- ③ 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- ④ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ⑤ 飲酒運転の根絶



ゼブラ・ストップ活動

ゼブラ・ストップ活動とは、横断歩道の和製英語であるゼブラゾーンの「ゼブラ」にかけて、「前方」・「ブレーキ」・「ライト」(3(サン)・ライト)をドライバーに強く意識してもらい、横断歩道手前での確実な「ストップ(一時停止)」を徹底することにより、横断歩道上の歩行者を保護することを目的とした活動です。車を運転するときは、「ゼブラ・ストップ活動」を実践し、交通事故をストップしましょう。

「前方」をよく見て運転、横断歩道に十分注意

前をよく見て安全運転、横断歩道を発見したら、その周りに歩行者等がないか十分注意!

横断歩道の手前では、「ブレーキ」操作で安全確認

渡るようする歩行者等がいるかも知れない場合は、横断歩道の手前で停まれる速度で進もう!

横断歩道でも3(サン)・「ライト」で交通事故防止

車の「ライト」早めの点灯、小まめな切り替え
横断者も反射材等で「ライト」アップ
「ライト」(右)からの横断者にも注意

横断する歩行者がいたら… 交通事故…

ストップ

運転操作ミスによる事故を減らすために!!

サポカー/サポカーSをご存知ですか?

- ★ サポカー(セーフティ・サポートカー) …自動ブレーキを搭載した、全ての運転者に推奨する自動車
- ★ サポカーS(セーフティ・サポートカーS) …自動ブレーキに加え、ペダル踏み間違い時加速抑制装置等を搭載した特に高齢運転者に推奨する自動車

先進安全技術

<p>自動ブレーキ</p> <p>危険を予測し衝突を回避、または被害を軽減</p>	<p>ペダル踏み間違い時加速抑制装置</p> <p>駐車スペースから出る時などの、誤操作による急発進を防ぐ</p>	<p>車線逸脱警報</p> <p>車線を検知して、はみ出しを警報</p>	<p>先進ライト</p> <p>自動的にロービームに切り替え、夜間の歩行者など早期発見に貢献</p>
--	--	---	---

※出典：サポカー・サポカーS(安全運転サポート車)のWEBサイト(経済産業省)

注意書き

先進安全技術は事故を完全に防ぐものではありません。装置の機能を過信せず、引き続き安全運転を心掛けて頂きますようお願いいたします。詳細については各自動車メーカー、販売店にご相談ください。

子供と高齢者の交通事故防止

子供の交通事故防止

小学生の歩行中の交通事故の分析結果によると、

- **小学校1年生が60人と最も多い(死傷者数)**
- **登下校時間帯に多発**
- **飛び出しが最も多い**などの特徴が認められたところ。

子供の交通事故を防止するためには、児童に対する交通安全教育のみならず、その保護者やドライバーの皆さんも交通事故原因などについて理解を深めていただき、交通ルールの遵守と正しい交通マナーを実践していただく必要があります。

「ドライバー」の方へお願いします!

- 飛び出しによる交通事故が多発しています。学校付近、住宅街、通学路などの標識があるところでは左右の安全確認をしっかりとって運転してください。
- 子供は無理に道路を横断しようとする場合があります。子供が独り歩きしている場合は徐行か一時停止し安全に通れるようにしてください。

「保護者」の方へお願いします!

- 道路に出る時は、突然飛び出さないよう「止まる・見る・待つ」を繰り返し教えてください。
- 道路を横断する時は、左右をよく見て安全を確かめてから、横断を始め、横断中も車に気を付けるよう、繰り返し教えてください。

高齢者の交通事故防止

判断能力や視力など心身機能は年を重ねるごとに低下します。交通事故に遭わない、起さないよう、安全確認を十分に行いましょう。

- 体調不良を感じた時は、運転を控えることも大切です。
- 運転に不安を感じている方は、運転免許の自主返納を考えましょう。
- 徒歩で外出する際は、遠回りでも信号機のある場所や横断歩道を渡りましょう。
- 夕方から明け方に外出する際は、反射材の着用や、明るい服装で出かけ、ドライバーに自分の存在を知らせましょう。



第56回 交通安全 こども自転車千葉県大会

7月11日に県総合スポーツセンター体育館で第56回交通安全こども自転車千葉県大会が行われました。

大会では、交通規制や道路標識の意味を問う学科テストと、安全で正しい運転技術を見る実技テストが行われました。参加9校のうち松戸市立中部小学校(A)が優勝し、「第54回交通安全子供自転車全国大会」に出場しました。



千葉県 大会の 結果

優勝 松戸市立中部小学校(A)

準優勝 松戸市立中部小学校(B)

3位 松戸市立相模台小学校

交通安全推進隊

県では、悲惨な交通事故を無くすため、交通安全活動に関心と意欲を持ち、地域で活動できる方を、「交通安全推進隊」(交通安全ボランティア)として募集しています。

交通安全推進隊は、県民の皆さん一人ひとりの積極的な参加による「交通安全県ちば」を目指して、県が平成14年度から整備を進めている組織で、現在約3,200名の皆さんが地域の交通安全のために活動しております。



活動内容

- 1 通学路などにおける街頭監視、保護・誘導
- 2 交通安全に関する高齢者宅訪問活動
- 3 その他、地域の実情に応じた活動

- 交通安全講習会の開催及び協力
- 自転車の安全利用に関する広報啓発活動
- 交通安全運動の行事など、警察署と連携した街頭での広報啓発活動
- その他、交通安全意識の普及・浸透に資する活動、市町村が必要と認めた活動

オール千葉おもてなしアクション!

県では、「千葉に来てよかった」、「また来たい」と思ってもらえるよう、「オール千葉おもてなしアクション!」に取り組んでいます。

運転マナーは、その土地の印象に繋がり、思いやりのある運転は、千葉県を訪れる方へのおもてなしにも繋がります。

10月からは「おもてなし」について再確認を行うためのキャンペーンも実施します!皆さんも思いやりを持った運転に取り組んでみませんか?

オール千葉で「おもてなし」



◎交通事故の相談

交通事故の当事者となり、お困りの方はご相談ください。

臨床心理士による心のケアも行っています。県内各市町の巡回相談も行っていますので、日程等はお問い合わせください。

なお、くらし安全推進課ホームページで巡回相談日程や交通事故Q&Aをご案内しています。

千葉県交通事故相談所

検索

問い合わせ先

○本所…県庁本庁舎2階 TEL 043-223-2264

○東葛飾支所…東葛飾合同庁舎4階 TEL 047-368-8000

○安房支所…安房合同庁舎1階 TEL 0470-22-7132

◎千葉県交通安全教育推進員の派遣

学校、町内会、職員研修などで交通安全教室を開く際にご活用ください。対象者に合わせて経験豊富な推進員を派遣いたします。(講師料は無料ですが、講師の交通費等の実費分は負担願います。)

◎交通安全ビデオの貸出

交通安全教育に役立てていただくために、交通安全ビデオ(DVD・VHS)の貸出を行っています。

ビデオ一覧は、くらし安全推進課ホームページをご覧ください。

千葉県交通安全ライブラリー

検索

問い合わせ先

千葉県環境生活部

くらし安全推進課 交通安全対策室 TEL 043-223-2263